

男子決勝戦評

酒門	40	8	vs	11	56	みのり
		8		17		
		6		10		
		18		18		

青⑮の0度からのミドルシュートで先制。青⑤のシュートで加点し青が主導権を握る。白④もカットイン、自らのドライブ、ミドルレンジからのジャンプショットと多彩な個人技で応戦。
1Q終了間際に青⑫がバスケットカウントで3点を奪うと、白④のブザービートで反攻し1Q終了。

青の速いパス回しから⑥⑦のインサイドプレイヤーにボールを集め連続ポイント。白も⑦のシュートで反撃するもなかなか点差は縮まらない。
白、パス、シュートのイージーミスが続き、タイムアウトをとり流れを変えようとする。しかし、青④のフロントコートでの2本のスティール等もあり、完全に青ペースのまま、前半終了。

青④の高速ドリブルインで後半も青が先制得点。更に青⑥、⑦がインサイドを攻めて加点。
一方の白は青のゾーンを崩し切れず、ミドルシュートを多投するが、ことごとくリングに嫌われ差を縮められない。更にリードを広げた青が16点のリードを持って最終Qへ。

白に疲れと焦りが見え始め、足が止まったところを青が堅実な攻めで加点しリードを広げる。
終盤互いに激しいチェックでファールが増え、荒れ気味の展開へ。
残り時間1分、得点差を安全圏にした青はフレッシュなメンバーを入れる余裕を見せる。ラストは白⑦のハーフライン付近からのロングシュートでブザービートを決め、意地を見せる。
このプレイに会場中から健闘を称える大きな拍手。
みのりは地区大会決勝の雪辱を果たし、夏の県を制す。